

区分・種別	県指定史跡		
名 称	たかのちょうえいのかくれが 高野長英の隠れ家		
所 在 地	西予市宇和町卯之町		
所 有 者	西予市	管 理 団 体	
指定年月日	昭和23年10月28日		
解 説	高野長英（1804～1850）は陸奥国水沢^{むつのくにみずさわ}（現在の岩手県奥州市）に生まれる。天保10（1839）年「蜚^{ばんしや}社の獄^{ごく}」で投獄され、弘化元（1844）年獄舎の火災を機に脱獄し、幕府の厳しい探索を逃れるため江戸から逃亡した。嘉永元（1848）年には宇和島藩主伊達宗城^{だてむねなり}の保護^{いとうずいけい}によって、伊東瑞溪と変名して宇和島藩に滞在し後学に大きな影響を与えた。 嘉永2（1849）年、シーボルト門下の学友二宮敬作^{にのみやけいさく}をたよって卯之町^{うのまち}（現在の西予市宇和町卯之町）に来た長英を、敬作は裏庭の離れ2階にかくまった。 裏庭の離れの間取りは、1階に6畳と3畳の間、2階に4畳半の間（床の間と押入れ付き）であった。現在では1階部分が^く朽ちたため取り除かれ、隠れ家として利用された2階部分が平屋建として保存されている。		

